

報第28号

公益財団法人柏崎地域国際化協会経営状況報告書

令和5年（2023年）9月5日提出

柏崎市長 櫻井 雅 浩

令和5（2023）事業年度 事業計画及び予算

公益財団法人柏崎地域国際化協会 令和5年度事業計画書

令和2年度からの新型コロナウイルス感染症流行のため、講座等への参加人数は以前には届いていませんが、感染対策を講じた語学文化講座や日本語教室の継続、講座の Web 配信など、新しい生活様式に対応した事業を進めてきました。

協会の設立目的は、多文化共生の地域づくりです。それは、世界の全ての人が、国や人種・文化の違いを超えて互いを認め合い、心豊かに暮らせる社会を作ることであると考えます。日本に住む外国人の方々に対して、地域の重要な担い手としての期待がますます高まっています。柏崎市でも外国人住民の数が増えることが予想されます。

地域の方々と協働で、日本文化に基づく情報を、分かりやすく伝える工夫をしていきます。相談活動や情報発信の充実を更に図り、多文化共生を意識した事業を進めていきます。また、日本人と外国人との理解の橋渡しを担う言語文化サポーターの育成を継続して進めます。

国連の提唱する持続可能な開発目標 SDGs(エスディーズ)を意識して、目標に沿った活動を続けます。

公益目的 地域国際化事業

7,223千円

1 国際化に関する事業(定款第4条1項(1))SDGs



3,518千円

国際協力貢献

官公庁及び大使館提出書類の翻訳、柏崎市を多言語で PR するための事業等の翻訳通訳などに協力します。友好都市を含む世界の地域との交流に関する文書翻訳や通訳など、事業協力を行います。言葉の協力をするすることで、人や国の不平等をなくすために協力します。

語学文化講座

人材育成のための講座で、英語(初級・中級)、韓国語を開講します。換気のできる教室で、密にならないよう座席などにも配慮し、講座を進めます。言語と共に文化も学ぶことは、より深い理解につながり、言語の基礎を理解することになるからです。昨年度まで実施していた中国語講座は、多文化理解講座としてシリーズで実施します。

多文化理解講座

日本の風習習慣も世界のことも知る講座です。外国出身者が柏崎地域で自信を持って活躍してほしい、住んでいる地域のことをもっと知ってほしいとの思いで、講師から外国の文化紹介や、言語文化サポーターの協力による日本文化体験などを行います。特に、互いの交流の場の充実を工夫します。引き続き、学校へ出向むいて実施する多文化共生の出前講座を企画・支援します。

また、コミュニケーションの手段として有効な「やさしい日本語」についての講座を企画します。

2 情報の収集提供事業(定款第4条1項(2))SDGs



1,028千円

多言語情報

国際化の事業をよく知ってもらうために、また、地域住民へ安心安全を伝えるために、協会のホームページを充実させます。フェイスブックとの連動を図り、言語文化サポーターの協力で、生活や防災に役立つ情報をやさしい日本語、英語をはじめ、他の外国語でも発信できるよう、今の取組を推進します。また、動画での配信について検討します。

柏崎を世界に発信するための活動にも協力します。

広報啓発

世界を意識した国際活動に興味を持ってもらうために、当協会の活動報告や事業周知をする、国際化協会ニュースを発行します。多文化共生理解を地域に広めることを目的としています。

3 活動協力育成(定款第4条1項(3))SDGs 1,212千円

人材育成

多文化共生社会の中での橋渡しのできる人材を育成します。地域で頼りになる言語文化サポーターの育成を続け、活躍できる場を地域と連携して造ります。災害時外国人支援研修では、外国人をサポートする人材の研修を充実させます。情報が届かず被災者になってしまう人々を、少なくするためです。密にならないような環境で研修できるよう、仕組みも考えて実施します。

民間協力

誰にでも気軽にできる国際協力として、市民と共に取り組んでいる活動です。家にある外国コインをお寄せいただき、公益財団法人日本ユニセフ協会(日本での国際連合児童基金)に送り、世界の子どもの命と健康、権利を守る活動に役立ててもらっています。未使用の切手・はがき、書損じはがき及び使用済切手やテレフォンカードなどを集めています。それを、特定非営利活動法人シャプラニールに送り、主にバングラデシュやネパールの人々の生活向上を目指した活動にいかしています。また、国際関係を学ぶ団体やインバウンド推進の研修会などへの講師依頼に応じます。地域と連携し、公正で平和に向かうための活動になるよう協力します。

4 地域協働支援(定款第4条1項(4))SDGs 1,465千円

生活相談

外国関連の生活相談に対応します。地域住民の人権を守ることにつながるからです。通訳を必要とする行政の事務や学校などに、依頼があれば通訳を派遣します。相談者の不安を取り除き、解決に向けて、より専門的な機関へつなぐ役割を担います。オンラインを活用した相談活動の充実を図ります。

日本語支援

日本語学習を続けることは、学習意欲が高まること、日本理解が進むこと、職業を得ることにつながるなど、地域での生活がより豊かになります。社会人、技能実習生、中学高校生を対象に、日本語教室を昼夜開講します。十分に感染予防の対策をとり、教室を準備します。この教室は一つの居場所となっていて、心の安定につながっています。講師は、日本語指導に十分な知識と経験を積んだ言語文化サポーターが務めています。また、新たな担い手を育成する研修に力をいれます。

柏崎市教育委員会から依頼を受けた場合、研修を受けた方を日本語指導員として推薦します。外国にルーツを持つ子どもたちが、質の高い教育にたどり着けるようにするためです。

法人管理業務

1,029千円

理事会、評議員会、監事会、執行役員会の開催、法人の運営に関する事務局経費です。

科 目	公益目的事業	法人管理	令和5年度予算	令和4年度予算	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績	令和元年度実績
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	393,000	129,000	522,000	522,000	522,000	522,000	522,000	522,000
その他の財産運用益	0	0	0	0	6	4	6	4
受取会費	500,000	0	500,000	470,000	570,000	527,000	421,000	458,000
団体賛助会費	400,000	0	400,000	380,000	440,000	410,000	340,000	350,000
個人賛助会費	100,000	0	100,000	90,000	130,000	117,000	81,000	108,000
事業収益	1,470,000	0	1,470,000	1,295,000	1,589,367	1,202,524	540,533	1,684,893
国際協力貢献事業	60,000	0	60,000	60,000	140,000	51,500	48,000	299,000
語学文化事業	1,200,000	0	1,200,000	1,000,000	1,326,067	982,224	444,333	1,143,853
多文化理解事業	100,000	0	100,000	100,000	63,100	71,800	13,000	97,400
その他事業	110,000	0	110,000	135,000	60,200	97,000	35,200	144,640
受取補助金等	4,850,000	900,000	5,750,000	5,750,000	5,850,000	5,850,000	5,750,000	6,250,000
受取柏崎市負担金	4,800,000	900,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	5,700,000	6,000,000
民間団体委託金	50,000	0	50,000	50,000	150,000	150,000	50,000	250,000
受取寄付金等	5,000	0	5,000	5,000	0	0	0	35,000
雑収益	1,000	0	1,000	1,000	7,743	109	612	296
受取利息	500	0	500	500	107	109	412	296
雑収益	500	0	500	500	7,636	0	200	0
特別費用積立金取崩収入							500,000	0
経常収益計	7,219,000	1,029,000	8,248,000	8,043,000	8,539,116	8,101,637	7,734,151	8,950,193
(2) 経常費用								
給与	3,724,000	552,800	4,276,800	4,276,800	4,276,800	4,216,800	4,128,000	4,128,000
臨時雇賃金	164,800	0	164,800	329,600	34,300	647,878	985,390	935,900
法定福利費	599,000	107,000	706,000	708,000	704,738	732,809	644,107	643,744
福利厚生費	0	28,000	28,000	28,000	23,390	23,699	24,873	25,080
退職給付金	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給与引当金	0	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
会議費	70,000	35,000	105,000	53,000	40,731	40,116	25,961	93,840
旅費交通費	210,000	4,000	214,000	144,000	166,284	30,540	40,010	117,710
通信運搬費	167,000	40,000	207,000	192,000	205,139	176,607	146,130	170,692
消耗什器備品費	0	0	0		473,000			
消耗品費	146,000	12,000	158,000	228,000	375,857	307,338	138,551	181,239
印刷製本費	152,000	6,000	158,000	154,000	122,564	102,829	102,798	312,697
賃借料	227,000	51,000	278,000	210,000	304,885	282,164	75,745	120,443
諸謝金	1,685,000	20,000	1,705,000	1,750,000	1,472,059	1,480,185	698,080	1,850,105
広告宣伝費	50,000	33,000	83,000	33,000	36,300	418,000		
支払負担金	20,000	0	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	70,000
支払寄付金	5,000	0	5,000	5,000	0	0	0	0
雑費	3,000	80,000	83,000	43,000	15,096	66,567	47,100	69,812
地域国際化事業積立金繰入額							100,000	50,000
多文化共生事業積立金繰入額							500,000	
経常費用計	7,222,800	1,028,800	8,251,600	8,234,400	8,331,143	8,605,532	7,736,745	8,829,262
当期経常増減額	△ 3,800	200	△ 3,600	△ 191,400	207,973	△ 503,895	△ 2,594	120,931
科 目	公益目的事業	法人管理	令和5年度予算	令和4年度予算	令和4年度実績	令和3年度実績	令和2年度実績	令和元年度実績
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,800	200	△ 3,600	△ 191,400	207,973	△ 503,895	△ 2,594	120,931
一般正味財産期首残高	2,283,081	5,332,621	7,615,702	7,407,729	7,407,729	7,911,624	7,414,218	7,293,287
一般正味財産期末残高	2,279,281	5,332,821	7,612,102	7,216,329	7,615,702	7,407,729	7,411,624	7,414,218
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,279,281	5,332,821	107,612,102	107,216,329	107,898,077	107,407,729	107,411,624	107,414,218

令和4（2022）事業年度決算に関する書類

令和4年度事業報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行による参加人数の制限などが継続しており、コロナ禍前と同様の事業実施が難しい状況下にありました。その中でも、語学文化講座、日本語教室、多文化理解講座など、感染対策をとった上で計画し、夏に予定していた子ども向け講座「キッズサマースクール」の延期以外は予定どおり実施することができました。そのほか、多言語情報の発信や生活相談、翻訳依頼などに対応しました。

公益目的 地域国際化事業

I 国際化に関する事業

・ 国際協力貢献

主に、翻訳事業を実施しました。個人からの依頼は、出身国大使館に提出するための戸籍謄本など日本語の書類から英語への翻訳、年金や児童手当受給のための英語、中国語から日本語への翻訳などです。また、中国の交流のある都市との挨拶状のやり取りについても言語文化サポーターの協力を得ながら翻訳対応しました。特に個人の翻訳依頼に関しては、必要に応じて利用者への情報提供も行い、不公平や不利益が生じないように努めました。

・ 語学文化講座

柏崎市市民プラザの利用人数制限もあり、参加人数を制限して実施しました。英語を3クラス、韓国語を1クラス、時間は90分としました。中国語は、実施の計画ではありましたが、春期は応募者が少ないため開講せず、秋期以降は募集しませんでした。講師については、年齢性別によらず真に教授能力のある方をお願いしました。内容については、受講生が言葉や文化を深く理解する講座となるよう依頼しています。

	初級英会話昼	英会話昼	英会話夜	韓国語	計
春期(10回)	10(100)	6(60)	14(140)	11(110)	41(410)
秋期(12回)	12(144)	6(72)	14(168)	12(144)	44(528)
冬期(8回)	14(112)	8(64)	12(96)	5(40)	39(312)
計	36(356)	20(196)	40(404)	28(294)	124(1,250)

※()内は延べ人数

※韓国語講座については、冬期に初心者向け講座、次年度の春期、秋期に継続講座として実施する。

・ 多文化理解

【日本文化体験講座：笹団子づくり】

日本文化体験講座「笹団子づくり」を6月26日に市民プラザで実施しました。参加者は、日本語教室の生徒や留学生などアメリカ、インドネシア、韓国、中国、ベトナムの5か国17名でした。高柳で活動する山中みどりの会小山ユキエ様ら3名に講師を務めていただき、ヨモギを摘むところから実際にゆでるところまでの作り方を詳しく御紹介いただきました。その後、事前に準備されたヨモギ餅であんこを包み、笹で巻くところまで体験しました。言語文化サポーター3名にも、後片付けなどで協力してもらい、実施することができました。地産地消、郷土の料理に親しみ、柏崎を知ってもらう良い機会となりました。

【ことばと文化：英語、韓国語、中国語】

外国語や文化を学びたいという初心者の方々に向けて、「はじめの一步」を踏み出すための講座として、英語、韓国語、中国語の3か国語の講座を実施しました。それぞれネイティブスピーカーを講師とし、英語には、ガールスカウト新潟県第一団のメンバー2名と言語文化サポーター1名による通

訳、韓国語には、昨年度の語学文化講座参加者6名、中国語には（公財）新潟県国際交流協会の留学生交流推進員2名がボランティアとして参加しました。いずれも、講師と参加者をつなぐ役目を果たし、参加者からは、「とても分かりやすく説明してもらった」「緊張感が和らいだ」など好意的な感想が寄せられました。

実施日	講座名	内容	参加者数
7月30日	英語	アメリカの文化、ゲームを通してやさしい英語に親しむ	11
8月6日	韓国語	ハングル文字の仕組み、SNS投稿のための韓国語	16
8月7日	中国語	福建省と重慶市の紹介、やさしい中国語に触れる	10

【多文化共生=(イコール)持続可能な地域づくり ～コミュニケーションは日本語でOK!～】

10月1日に帝京大学日本語教育センター有田佳代子教授をオンライン講師としてお迎えし、会場とオンラインのハイブリッドで講座を実施しました。有田先生からは、日本語教育学の観点から多文化共生社会を考えるに当たっての課題や「多様性」について、数値や身近な例を挙げて分かりやすくお話いただきました。その後、参加者はグループに分かれて、感想や意見を交換しました。自分の体験に重ね合わせて語り合う姿が印象的でした。

【国際理解セミナー アジアから世界を知る! 「枯渇性エネルギーから自然エネルギーへ～中国の動向～」】

10月22日に柏崎市市民プラザにて、（公財）新潟県国際交流協会と共催で、国際理解セミナー「アジアから世界を知る!」を開催しました。新潟産業大学絹川ゲニイ教授に「枯渇性エネルギーから自然エネルギーへ～中国の動向～」と題し、御講演いただきました。自然エネルギーの仕組み、中国の動向、世界の動向を分かりやすく解説していただきました。

【やさしい日本語でやってみよう! 外国人への窓口対応】

11月20日に（公財）新潟県国際交流協会、柏崎市との共催で、自治体職員等向けのやさしい日本語での窓口対応を学ぶ講座を実施しました。講師は、一橋大学 森有礼高等教育国際流動化機構 国際教育交流センター 柳田 直美准教授、参加者は柏崎市職員を中心に40名でした。当協会は、自治体窓口利用の外国人のモデルとして、言語文化サポーターの参加をコーディネートしました。

【「多文化防災シンポジウム～日頃防災:できなかったことを「できる」に変える～」】

12月4日に中越沖地震の体験をいかして、外国人の災害時対応や防災について考えることを目的として実施しました。主な内容は、次のとおりです。

第1部 講話: 多文化共生マネージャー清水由美子氏

第2部 外国人の方の体験発表(2名)・支援者(1名)

第3部 グループワーク(26名・3グループ)

グループワークでは、言語文化サポーターの協力もあって、活発な意見交換会になりました。参加者の方からは、「中越沖地震の時の避難所のことが具体的に参考になった」「外国人の方の考えを直接聴くことができた」「情報が大事。やさしい日本語についてもっと知りたい」、「普段から交流したい」などの感想がありました。

【キッズウィンタースクール:アート&ミュージック】

小学生対象に、キッズサマースクール「アート&ミュージック」を8月6日に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の市内感染状況等を鑑み、延期することとしました。冬休み期間の12月26日にウィンタースクールとして、同様の内容で実施しました。ボランティアとして新潟県ガールスカウト第一団の方々、インドネシアについては、市内で働く技能実習生の支援を得て、国の紹介、バリ島の踊りの披露、手の動きの体験、ゲームでの交流をしました。アメリカ出身の講師からは、フィンガーペインティングで季節のカードを英語でのメッセージで作ることを教わりまし

た。楽しく一緒に活動することで、2つの国の文化や言葉に親しみ、アンケートには「今まで知らなかったことが分かった」「来年も参加したい」などの記述がありました。

【ネパール・スパイスカレー】

3月3日に言語文化サポーターとして活動しているネパール出身の新潟産業大学学生が講師となり、自身の民族が作る「スパイスカレー」と付け合わせの「アチャール2種」を作りました。キャンセル待ちが出るほどの人気講座で、最終的に参加者は18名でした。講師からはネパールの紹介や、スパイスのネパール語での呼び方も教わりながら、楽しくネパール文化に触れる機会となりました。

【多文化共生学校出前プロジェクト】

3校から申込みがあり、下記のとおり実施しました。講師は、言語文化サポーターや（公財）新潟県国際交流協会の留学生交流推進員、新潟県国際交流員などが務めました。コーディネートを当協会が担当しました。

実施日	学校名	内容	対象
8月24日 9月22日 9月30日	新潟県立 柏崎翔洋 中等教育 学校	9月30日に中国宜昌市の外国語学校日本語専攻の同世代の生徒とのオンライン交流を柏崎市が実施しました。当日の交流や事前準備のサポートを行いました。和やかに交流会は実施され、生徒からは、「中国語で自己紹介ができてよかった」「リハーサルでアドバイスをもらって、自信をもって発表できた」という感想がありました。 講師：新潟県留学生交流推進員1名（中国出身）	生徒会役員 生徒 （5年生中心4名）
10月6日	柏崎市立 第五中 学校	10月28日に中国峨眉山市の中学生とのオンライン交流を柏崎市が実施しました。そのための事前学習講座として中国の民族や世界遺産の紹介、中国語会話体験を実施しました。オンライン交流を控え、生徒の皆さんはとても熱心に取り組んでいました。 講師：言語文化サポーター1名（中国出身柏崎市在住） 新潟県留学生交流推進員1名（中国出身）	全校生徒 （33名）
12月8日	新潟県立 はまなす 特別支援 学校（中学 部）	ブラジル出身講師2名、通訳者1名とで、ブラジルのサンバや音楽、ポルトガル語の挨拶を体験する講座を実施しました。授業参観でもあり、生徒はもちろん、保護者の皆さんも一緒にサンバを踊り楽しく交流しながら文化に触れる機会となりました。 講師：言語文化サポーター（ブラジル出身）2名 言語文化サポーター（日本人通訳）1名	3年生 （生徒10名、保護者4名）
12月15日		韓国の文化を紹介し、歌やダンスを体験する講座を実施しました。講師に韓服を着てもらい、ダンスをするなど「目で見て分かる」「体験する」を大切に実施しました。終わりには、お互いに韓国語で挨拶をして、楽しい交流ができました。 講師：新潟県国際交流員 ユ ミンヒョン氏	1・2年生 （生徒13名）

II 情報収集提供事業

・ 多言語情報運営

ホームページやフェイスブックを通して、情報を発信しました。主にホームページではイベント情報を、フェイスブックではタイムリーな情報を掲載し、発信しています。特に、フェイスブックでは熱中症の予防や新型コロナウイルス感染症の情報、防災関連情報など広報かしわざきの内容を参考にやさしい日本語や英語で発信しました。

・ 広報啓発

会員募集の案内を4月に配布、各種講座参加者へ会員加入のお願いなども実施し、団体は38団体、個人は107名に加入いただいております。団体、個人とも新規加入がありました。また、3月に柏崎市内町内会回覧として協会ニュースを発行しました。これまで多文化共生という考え方に触れたことがない方にも当協会の活動に興味を持っていただく機会となりました。

III 活動協力育成事業

・ 人材育成

職員が各種多文化共生、外国人防災関連、やさしい日本語などに関する研修に参加しました。オンラインでも受講できる講座に関しては、できるだけオンライン受講としました。日本語教室の講師等日本語支援者は、長岡市地球広場主催の「日本語の教え方」講座に参加しました。

言語文化サポーター代表者を2回開催し、第1回は、ハイブリッド方式で開催し、防災をテーマとして、日頃どんなことが心配か、どんな支援や仕組みがあったらいいかなど、それぞれの出身国などの文化を踏まえて意見を伺いました。第2回では、情報発信の方法について、それぞれの言語、文化ではどのように伝えたら伝わりやすいか、よく利用するアプリなどを話し合いました。

・ 民間協力

当協会窓口で以下のものを収集しました。

◆ ステナイ生活協力 送付先：特定非営利活動法人シャプラニール

未使用切手・はがき、使用済切手、テレフォンカードなどは換金され、南アジアの人びとの生活向上を目指した活動にいかされています。

◆ 外国コイン募金 送付先：公益財団法人日本ユニセフ協会

外国コインは、世界の子どもたちの命と健康を守るための活動に使われています。

IV 地域協働支援事業

・ 生活相談

177件の相談が寄せられました。内容は、当協会主催講座に関することや年金申請、新型コロナウイルス感染症対応、相続、離婚、近隣トラブル、勤務先とのトラブル等で、相談者も日本人（家族が外国人の方など）、外国人共におり、幅広くお受けしました。特に外国人個人に関する事柄については、慎重に話を聞き、必要があれば警察、法テラス、弁護士、外国人相談センター新潟などの関係機関で調査、照会をし、回答しました。

・ 日本語支援

アクリル板の設置、換気ができる広い教室を使用し、受講者には体温測定を義務付けるなど十分な対策を講じた上で、昼夜2講座各1時間ずつ実施しました。1月から3月までの夜の講座は、天候を鑑み実施しませんでした。参加者は、昼12名、夜15名でした。講師5名のうち3名は昨年度末以降に支援を始めた方で、講師会での研修や実地研修をしながら支援に当たりました。日本の文化体験を取り入れながら、初級者を中心に実施しました。

教育委員会から、小学校の児童への支援要請があり、新規で4校5名への支援のため日本語指導ができる言語文化サポーターを紹介しました。このほか、昨年度から継続して2校2名の支援を行いましたが、うち1名は7月末で支援が終了となりました。

科 目	令和4年度予算a	公益目的事業	法人管理	決算額b	差額 = a-b	
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	522,000	366,000	156,000	522,000	0	
その他の財産運用益	0	2	4	6	△ 6	
受取会費	470,000	570,000	0	570,000	△ 100,000	
団体賛助会費	380,000	440,000		440,000	△ 60,000	38団体44口
個人賛助会費	90,000	130,000		130,000	△ 40,000	個人107名130口
事業収益	1,295,000	1,589,367	0	1,589,367	△ 294,367	
国際協力貢献事業	60,000	140,000		140,000	△ 80,000	翻訳・通訳 官公庁提出書類他
語学文化事業	1,000,000	1,326,067		1,326,067	△ 326,067	英語・韓国語講座
多文化理解事業	100,000	63,100		63,100	36,900	文化紹介講座、多文化防災シンポ、キッズウィンタースクール他
その他事業	135,000	60,200		60,200	74,800	日本語教室
受取補助金等	5,750,000	4,900,000	950,000	5,850,000	△ 100,000	
受取柏崎市負担金	5,700,000	4,750,000	950,000	5,700,000	0	
民間団体委託金	50,000	150,000		150,000	△ 100,000	新潟県国際交流協会「アジアから世界を知る！」
受取寄付金等	5,000	0	0	0	0	
雑収益	1,000	7,743	0	7,743	△ 6,743	
受取利息	500	107		107	393	預金利息
雑収益	500	7,636		7,636	△ 7,136	文部科学省委託事業「地球市民キッズ」残金
経常収益計	8,043,000	7,433,112	1,106,004	8,539,116	△ 496,116	
(2) 経常費用						
給与	4,276,800	3,724,000	552,800	4,276,800	0	給与 従事割合職員2名
臨時雇賃金	329,600	34,300	0	34,300	295,300	賃金 パートタイム職員5時間×3日(3月)
法定福利費	708,000	598,612	106,126	704,738	3,262	社会保険、労働保険
福利厚生費	28,000	0	23,390	23,390	4,610	健康診断費用
退職給付金	0	0	0	0	0	
退職給与引当金	60,000	0	60,000	60,000	0	
会議費	53,000	27,493	13,238	40,731	12,269	講師打合せ会、執行役員会・理事会・評議員会
旅費交通費	144,000	161,620	4,664	166,284	△ 22,284	講師、研修参加旅費
通信運搬費	192,000	190,308	14,831	205,139	△ 13,139	プロバイダー料、切手代、電話料、Zoom契約料、振込手数料
消耗品什器備品費	0	330,220	142,780	473,000	△ 473,000	パソコン、耐火金庫
消耗品費	228,000	340,595	35,262	375,857	△ 147,857	タブレット、講座教材・食材費、事務用品、書籍他
印刷製本費	154,000	118,081	4,483	122,564	31,436	協会ニュース、コピー代、チラシ印刷代
賃借料	210,000	254,835	50,050	304,885	△ 94,885	プラザ使用料等
諸謝金	1,750,000	1,472,059	0	1,472,059	277,941	講座講師・日本語教室講師等謝金、翻訳・通訳謝金
広告宣伝費	33,000		36,300	36,300	△ 3,300	柏日広告料
支払負担金	20,000	20,000	0	20,000	0	新潟県国際交流協会、青年海外協力協会年会費
支払寄付金	5,000	0	0	0	5,000	海外災害募金活動なし
雑費	43,000	1,066	14,030	15,096	27,904	証明書発行費用、キッズウィンタースクールの保険他
経常費用計	8,234,400	7,273,189	1,057,954	8,331,143	△ 96,743	
当期経常増減額		159,923	48,050	207,973	△ 207,973	
科 目	令和4年度予算a	公益目的事業	法人管理	決算額b	差額 = a-b	
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0		
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0		
当期経常外増益額	0	0	0	0		
当期一般正味財産増減額	△ 191,400	159,923	48,050	207,973	16,573	
一般正味財産期首残高	7,407,729	2,123,158	5,284,571	7,407,729	0	
一般正味財産期末残高	7,216,329	2,283,081	5,332,621	7,615,702	△ 399,373	
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0		
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0	
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000	0	
III 正味財産期末残高	107,216,329	102,283,081	5,332,621	107,615,702	△ 399,373	

貸借対照表
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	23,122	0	23,122
預金	7,252,509	7,363,636	△ 111,127
未収金	8,000	0	8,000
前払費用	9,000	4,500	4,500
流動資産合計	7,292,631	7,368,136	△ 75,505
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	200,000	100,000
DX対応積立預金	200,000	0	200,000
退職給与引当預金	600,005	540,005	60,000
特定資産計	1,100,005	740,005	360,000
その他			
敷金	9,000	9,000	0
その他の固定資産計	9,000	9,000	0
固定資産合計	101,109,005	100,749,005	360,000
資産合計	108,401,636	108,117,141	284,495
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	34,300	0	34,300
預り金	151,629	169,407	△ 17,778
流動負債合計	185,929	169,407	16,522
2 固定負債			
退職給与引当金	600,005	540,005	60,000
固定負債合計	600,005	540,005	60,000
負債合計	785,934	709,412	76,522
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,615,702	7,407,729	207,973
(うち当期正味財産増減額)	207,973	△ 503,895	711,868
正味財産合計	107,615,702	107,407,729	207,973
負債及び正味財産合計	108,401,636	108,117,141	284,495

貸借対照表内訳表
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人管理	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	23,122	0	23,122
預金	1,802,318	5,450,191	7,252,509
未収金	8,000	0	8,000
前払費用	0	9,000	9,000
流動資産合計	1,833,440	5,459,191	7,292,631
2 固定財産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	0	300,000
D X 対応積立預金	200,000	0	200,000
退職給与引当預金	0	600,005	600,005
特定資産計	500,000	600,005	1,100,005
その他			
敷金	0	9,000	9,000
その他の固定資産計	0	9,000	9,000
固定資産合計	100,500,000	609,005	101,109,005
資産合計	102,333,440	6,068,196	108,401,636
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	34,300	0	34,300
預り金	16,059	135,570	151,629
流動負債合計	50,359	135,570	185,929
2 固定負債			
退職給与引当金	0	600,005	600,005
固定負債合計	0	600,005	600,005
負債合計	50,359	735,575	785,934
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産	2,283,081	5,332,621	7,615,702
正味財産合計	102,283,081	5,332,621	107,615,702
負債及び正味財産合計	102,333,440	6,068,196	108,401,636

正味財産増減計算書
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	522,000	522,000	0
その他の財産運用益	6	4	2
受取会費			
賛助会員会費	570,000	527,000	43,000
事業収益			
国際化事業収益	1,589,367	1,202,524	386,843
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,850,000	5,850,000	0
雑収益			
受取利息	107	109	△ 2
雑収益	7,636	0	7,636
経常収益計	8,539,116	8,101,637	437,479
(2) 経常費用			
給与	4,276,800	4,216,800	60,000
臨時雇賃金	34,300	647,878	△ 613,578
法定福利費	704,738	732,809	△ 28,071
福利厚生費	23,390	23,699	△ 309
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	40,731	40,116	615
旅費交通費	166,284	30,540	135,744
通信運搬費	205,139	176,607	28,532
消耗什器備品費	473,000	0	473,000
消耗品費	375,857	307,338	68,519
印刷製本費	122,564	102,829	19,735
賃借料	304,885	282,164	22,721
諸謝金	1,472,059	1,480,185	△ 8,126
広告宣伝費	36,300	418,000	△ 381,700
支払負担金	20,000	20,000	0
雑費	15,096	66,567	△ 51,471
経常費用計	8,331,143	8,605,532	△ 274,389
当期経常増減額	207,973	△ 503,895	711,868
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	207,973	△ 503,895	711,868
一般正味財産期首残高	7,407,729	7,911,624	△ 503,895
一般正味財産期末残高	7,615,702	7,407,729	207,973
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,850,000	5,850,000	0
一般正味財産への振替額	5,850,000	5,850,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,615,702	107,407,729	207,973

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書内訳表
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	法人管理	合計
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	366,000	156,000	522,000
その他の財産運用益			
その他の財産運用益	2	4	6
受取会費			
賛助会員会費	570,000	0	570,000
事業収益			
国際化事業収益	1,589,367	0	1,589,367
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	4,900,000	950,000	5,850,000
雑収益			
受取利息	107	0	107
雑収益	7,636	0	7,636
経常収益計	7,433,112	1,106,004	8,539,116
(2) 経常費用			
給与	3,724,000	552,800	4,276,800
臨時雇賃金	34,300	0	34,300
法定福利費	598,612	106,126	704,738
福利厚生費	0	23,390	23,390
退職給与引当金繰入額	0	60,000	60,000
会議費	27,493	13,238	40,731
旅費交通費	161,620	4,664	166,284
通信運搬費	190,308	14,831	205,139
消耗品什器備品費	330,220	142,780	473,000
消耗品費	340,595	35,262	375,857
印刷製本費	118,081	4,483	122,564
賃借料	254,835	50,050	304,885
諸謝金	1,472,059	0	1,472,059
広告宣伝費	0	36,300	36,300
支払負担金	20,000	0	20,000
雑費	1,066	14,030	15,096
経常費用計	7,273,189	1,057,954	8,331,143
当期経常増減額	159,923	48,050	207,973
当期一般正味財産増減額	159,923	48,050	207,973
一般正味財産期首残高	2,123,158	5,284,571	7,407,729
一般正味財産期末残高	2,283,081	5,332,621	7,615,702
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金	4,750,000	950,000	5,700,000
民間団体委託金	150,000	0	150,000
一般正味財産への振替額	4,900,000	950,000	5,850,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産期末残高	100,000,000	0	100,000,000
III 正味財産期末残高	102,283,081	5,332,621	107,615,702

財 産 目 録
令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	公益財団法人柏崎地域国際化協会	運転資金として	23,122
	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	4,931,969
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2,320,540
	未収金	柏崎市	翻訳料、ネイティブチェック料として	8,000
	前払費用	遠藤 聡子	4月分職員利用駐車場料金として	9,000
流動資産合計				7,292,631
(固定資産)				
基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を国際化協会の事業及び管理目的の財源として使用している。	50,000,000
		149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50,000,000
その他の財産	コロナ禍対応事業 積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	アフターコロナに対応する事業のための積立金	300,000
	D X 対応積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	D X に対応する事業のための積立金	200,000
	退職給与引当預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	退職金支給に向けての積立金	600,005
その他	敷金	遠藤 聡子	駐車場を借りるための敷金 契約期間：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで	9,000
固定資産合計				101,109,005
資産合計				108,401,636
(流動負債)				
	未払金		令和5年4月支給予定の令和5年3月中臨時雇い賃金	34,300
	預り金	職員、講座講師から預かっているもの	源泉所得税、市県民税、社会保険料等未払いのもの	151,629
流動負債合計				185,929
(固定負債)				
	退職給与引当金		退職金支給のための引当金	600,005
固定負債合計				600,005
負債合計				785,934
正味財産				107,615,702

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
満期保有目的の債券は、取得価格を採用している。

(2) 資金の範囲について
資金の範囲には、現金預金及び前払費用、敷金、預り金を含めている。

2 会計方針

新公益法人会計基準によっている。

3 基本財産・その他の財産(特定資産)・その他の財産(その他)の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
その他の財産(特定資産)				
退職給与引当預金	540,005	60,000	0	600,005
コロナ禍対応事業積立預金	200,000	100,000	0	300,000
DX対応積立預金	0	200,000	0	200,000
小 計	740,005	360,000	0	1,100,005
その他の財産(その他)				
敷金	9,000	0	0	9,000
小 計	9,000	0	0	9,000
合 計	100,749,005	360,000	0	101,109,005

4 担保に供している資産 該当事項なし

5 減価償却資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 該当事項なし

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高 該当事項なし

7 保証債務 該当事項なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
*評価額は、令和5年3月31日時点における証券会社の評価・算定価格である。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	*評価額	評価損益
共同地方債 139回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,360,000	360,000
共同地方債 149回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,525,400	525,400
合 計	100,000,000	100,885,400	885,400

9 負担金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
負担金	柏崎市	0	5,700,000	5,700,000	0
委託金	(公財)新潟県国際交流協会	0	150,000	150,000	0
合 計		0	5,850,000	5,850,000	0

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
事業費への充当額	4,900,000
管理費への充当額	950,000
合 計	5,850,000

11 関連当事者との取引の内容 該当事項なし

以上

公益財団法人柏崎地域国際化協会役員等名簿

令和5年6月13日現在

役職名 氏名
(任期：令和5年6月12日から令和7年度定時評議員会終結の時まで)

理事長	三井田史夫
副理事長	石黒好夫
常任理事	山本睦子
理事	赤堀秋生
理事	木村あゆみ
理事	小林伸子
理事	長澤智信
理事	蓮池薫
理事	細山巧
理事	安野広明
理事	李虎奎

(任期：令和5年6月12日から令和9年定時評議員会終結の時まで)

監事	赤堀洋幸
監事	吉田勝彦

(任期：令和5年6月12日から令和9年定時評議員会終結の時まで)

評議員会会長	関井忠和
評議員	片山一弘
評議員	佐藤尚子
評議員	品田伸自
評議員	長野大拓
評議員	中村藤浩
評議員	野村秀子
評議員	村山浩
評議員	渡邊浩太